

令和6年4月

各 位

八戸市東京事務所長

## 八戸レポートの送付について

時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

「八戸レポート令和6年4月号」をお送りいたしますので、御高覧くださいますようお願いいたします。

国内最大級の規模を誇る八戸市の館鼻岸壁朝市が、3月17日（日）に開幕しました。平成16年に会場を同市湊町から現在の館鼻岸壁へ移転し、今年は20周年の節目の年です。また、10月19日（土）から20日（日）にかけて、「全国朝市サミット」が八戸市で開催されます。20日には、全国朝市サミット協議会加盟団体の出店による物産展が朝市会場内にて行われますので、ぜひお越しください。

さて、4月1日付けの人事異動により、当事務所の職員が、次のとおり変更となりました。当事務所所長の番沢、新たに赴任しました齋藤、事務員の浜井の3人体制となります。

引き続き、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

	氏名	旧職名 / 新職名
新	さいとう ちさと 齋藤 千聖	(旧職名) 総合政策部 市民連携推進課 主査
旧	まえた てつ 前田 哲	(新職名) 総合政策部 政策推進課 主事

### ◎皆様へのお願い

職業、役職、住所などに変更がある場合は、八戸市東京事務所までお知らせくださいますようお願い申し上げます。

八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 全国都市会館 5階

電話 (03) 3261-8973 / FAX (03) 3239-6723

E-mail: tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

# 八戸 4月号 レポート

令和6年3月の八戸市内での出来事や八戸市に関連する情報をお届けします。

## 【行政】

記事	概要
(1)	マチニワ（八戸）イベント支援事業 24年度、にぎわい創出へ
(2)	魅力、移住検討者に届け 体験をSNSに投稿 県がミニツアー開催
(3)	八戸市開設 8サポミーツ報告会 地域課題解決プラン発表
(4)	八戸公園こどもの国 新たな遊具仲間入り
(5)	みちのく潮風トレイル全線開通5周年 八戸などで5月からイベント

## 【産業】

記事	概要
(6)	八戸酒造 × アイエスエフネット（東京）コラボラベル八仙製造
(7)	番組制作、日本の水産物PR 岡田香港大使ら八食センターなど訪問
(8)	八戸港からコンテナ船で 京浜港への弘前産リンゴ輸送
(9)	ジーアイテック（八戸） ベトナム人ITエンジニア8人採用 来日せずリモート勤務
(10)	学び、挑戦の意欲さらに 米家電IT見本市に学生2人派遣

## 【地域】

記事	概要
(11)	東京・8 base八戸圏域ファンミーティング 伊調馨さん 五輪の逸話披露
(12)	いろんなこと挑戦して「ベビーカー博士」奥井さん、工大一高の後輩にエール
(13)	八戸・島守地区のコメで酒造り
(14)	館鼻岸壁朝市が開幕 八戸の"朝"20周年
(15)	八戸駅西地区開発本格化 スポーツ生かし集客へ

## 【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	映画「じょっぱり 看護の人花田ミキ」八戸で先行上映
(17)	えんぶりの未来、熱く 当事者と見る側が座談会
(18)	かおりカップスーパーキッズレスリング選手権 県内外84人熱戦
(19)	小田八幡宮八脚門（八戸）県重宝に 鹿島沢古墳群（八戸）出土品追加指定
(20)	八戸市美術館 藤井フミヤ展 惜しまれ閉幕

【行政】

記事	
(1)	<p><b>マチニワ（八戸）イベント支援事業 24年度、にぎわい創出へ</b></p> <p>八戸市三日町にあるマチニワの民間利用を促進させるため、市は、新型コロナウイルス禍で利用が低迷したことを契機に2022年度から実施しているイベント支援事業について、2024年度も行うこととした。支援事業は、3者以上の複数事業者が開催する飲食・物販を伴うイベントが対象。昨年度に引き続き、土日祝日の施設使用料3分の2の減免は維持しつつ、利用が少ない平日と冬季（12月～翌年3月）は全額減免する。事業者や団体などがイベントを開催しやすい環境をつくることで、市民が中心街を訪れる機会を増やし、街なかのにぎわい創出や経済活性化を図る。</p>
(2)	<p><b>魅力、移住検討者に届け 体験をSNSに投稿 県がミニツアー開催</b></p> <p>移住・交流ポータルサイトやInstagramなどで青森の暮らしの魅力を発信している青森県は、3月9日、八戸市内で「青森の暮らしと文化に触れる」ミニツアーを開催した。移住を検討している人に向け、参加者がツアーでの体験を交流サイト（SNS）に投稿する。黒石、弘前に続き第3弾の八戸編は「名水と絵付けの秘密を暴け！八戸探訪」と題して行われ、八戸製氷冷蔵では、みしまサイダーなどを製造する工場を見学し、地元の名水「三島の湧水」や地域の歴史などについても理解を深めた。また、市博物館では八幡馬の絵付けを行うなど、参加者はさまざまな体験を楽しみながら八戸の魅力発信に努めた。</p>
(3)	<p><b>八戸市開設 8サポミーツ報告会 地域課題解決プラン発表</b></p> <p>八戸市が開設する「はちのへ創業・事業承継サポートセンター（8サポ）」で2023年度に始まった起業支援プラットフォーム「8サポmeets（ミーツ）」のコミュニティー活動報告会が、3月17日、市美術館で開かれた。8サポミーツは、地域の経済界で活躍する人材の積極的な発掘を目的として昨年10月に始動。「学生起業チャレンジ」「スモールビジネス」「新ビジネス創出」の3つのコミュニティーを設け、起業に関心のある市民らがワークショップや先輩起業家との交流などを通して起業プランを検討している。報告会では、既に事業開始の準備が進んでいるプロジェクトを含めた9組が、地域の課題を解決するビジネスプランを発表し、3人のコメンテーターが助言した。</p>
(4)	<p><b>八戸公園こどもの国 新たな遊具仲間入り</b></p> <p>八戸市が八戸公園こどもの国で整備を進める大型遊具ゾーンに新たな施設が完成し、4月1日オープンした。遊具の整備は、熊谷市長が推し進める「子どもファースト事業」の一環で、2022年度から4カ年計画で実施している。工費には国の社会資本整備総合交付金を活用。昨年4月には大型複合遊具の一部の供用が開始されており、今春はさらに、子どもたちが並んで利用できるワイドスライダーや、らせん状のチューブ滑り台などを増設した。また、障害の有無や年齢にかかわらず利用できるインクルーシブ遊具も増え、市は大勢の子どもたちでにぎわうことを期待している。</p>

	<b>みちのく潮風トレイル全線開通5周年 八戸などで5月からイベント</b>
(5)	環境省などは5月から11月にかけて、八戸市や宮古市など4カ所でトレイル全線開通5周年を記念したウォーキングイベント「みちのく潮風トレイルウォーク」を行う。八戸市では、5月26日に、蕪島海浜公園をスタートする長距離（約8キロ）、葦毛崎展望台から始まる短距離（約5キロ）の2つのコースを設定。いずれもゴールは種差インフォメーションセンターとなる。また、当日はゲストとして弘前市出身でタレントの王林さんとフリーアナウンサーの藤井貴彦さんが訪れるほか、ポケモンとのコラボも企画されている。

**【産業】**

記事	概要
(6)	<p><b>八戸酒造 × アイエスエフネット（東京） コラボラベル八仙製造</b></p> <p>八戸酒造（八戸市）と国内外でITインフラ業などを手がけるアイエスエフネット（東京）が、世界展開に向けて異業種間でコラボレーションを始めた。八戸酒造がアイ社デザインのラベルを貼った陸奥八仙を造り、アイ社が海外や国内の顧客に配布する。アイ社がブランディング戦略の一環として製造を依頼。分野が違う企業のコラボは素晴らしい考えと好評だという。八戸酒造は商品や八戸のPR、アイ社は日本酒を通して自社の事業に興味をもってもらうことで、グローバル人材獲得への効果に期待を寄せる。</p>
(7)	<p><b>番組制作、日本の水産物PR 岡田香港大使ら八食センターなど訪問</b></p> <p>日本産水産物をPRする香港向け旅番組制作のため、在香港日本総領事館の岡田健一大使らが青森、岩手両県を訪れた。撮影には、岡田大使のほか、番組で司会を務める梁栄武（リョン・ウィンモウ）さんと鄧琦（タン・ペギー）さんも同行。3月3、4日の両日は八食センターやみろく横丁、種差海岸で食と文化に触れた。岡田大使によると、香港ではホタテなどの水産物やリンゴが親しまれ、雪を生かした観光の需要も高いという。近年人気が高まっている青森の魅力を紹介し、交流人口拡大や香港への輸出促進につなげたい考え。</p>
(8)	<p><b>八戸港からコンテナ船で 京浜港への弘前産リンゴ輸送</b></p> <p>トラック運転手の時間外労働の上限規制により、物流危機が懸念される「2024年問題」を前に、農産物の輸出を手がける日本農業（東京）は、輸送手段を船舶に転換する「モーダルシフト」の可能性を探っている。同社は3月9日、弘前産リンゴを八戸港から京浜港へ試行的に運ぶ取り組みを初めてコンテナ船で行った。弘前市から八戸港までトレーラーで輸送し、コンテナに積み替えて内航コンテナ船で京浜港に運び、外航コンテナ船で輸出した。日数や料金、輸送後のリンゴの品質などを確認し安定した輸送形態か検討する。</p>
(9)	<p><b>ジーアイテック（八戸） ベトナム人ITエンジニア8人採用 来日せずリモート勤務</b></p> <p>システム開発を手がけるジーアイテック（八戸市）は、来日せず現地に在住したままリモートワークで勤務するベトナム人のITエンジニアを採用している。現在8人が就労しており、LINE上で動作する「ミニアプリ」や企業の実務管理システムなどの開発に取り組む。人手不足を解消するため外国人材の活用を検討していた同社は、ベトナムの企業と連携し、業務を委託。最大都市のホーチミン市にあるホーチミン工科大とも連携し、卒業生の受け入れを推進する。佐藤義博社長は「ITエンジニアの確保が困難となる中で貴重な人材」と評価し、事業拡大を見据える。</p>

	<b>学び、挑戦の意欲さらに 米家電IT見本市に学生2人派遣</b>
(10)	米ラスベガスで開かれた世界最大級の家電IT見本市「CES」に、県内IT事業者が地元の学生を派遣したプロジェクトの報告会が3月9日、八戸市内で開かれた。現地で学んだ最先端技術を地元に戻し、将来的に地域の課題解決を担う人材を育てることが狙い。企画に賛同した企業14社の支援を得て派遣されたのは、八戸工大工学部4年の瓜田壮一郎さんと八戸高専専攻科1年の新田彩奈さん。報告会では、2人が興味を持った技術や現地の様子などが紹介され、学びの意欲をさらに深めた様子だった。

【地域】

記事	概要
(11)	<p><b>東京・8 base八戸圏域ファンミーティング 伊調馨さん 五輪の逸話披露</b></p> <p>八戸圏域ファンミーティング「ふるさと気分」が3月3日、東京・内幸町の八戸都市圏交流プラザ「8 base（エイトベース）」で開かれた。圏域ファンを増やし、誘客や移住などにつなげるのが狙い。2023年度最終回のゲストは、レスリング女子五輪4大会連続金メダルの伊調馨さん（八戸市出身）。伊調さんはレスリングを始めたきっかけや2016年リオ五輪大会決勝時の話題などさまざまなエピソードを披露。普段は聞けない話に、会場は大いに盛り上がり、首都圏在住者らが貴重な交流の機会を楽しんだ。</p>
(12)	<p><b>いろんなこと挑戦して「ベビーカー博士」奥井さん、工大一高の後輩にエール</b></p> <p>テレビ番組に「ベビーカー博士ちゃん」として出演したことをきっかけに、各地での講演や育児雑誌への執筆などで活躍している奥井ゆうかさん（日本大1年、B. Y u代表）が2月28日、母校の八戸工大一高で講演した。高校生に向けての講演は初めて。今回はベビーカーではなく、奥井さんのベビーカー博士ちゃんとしての経歴や高校生活の思い出を語った。1年生230人に向けて「周りの大人に助けをもらいながら、高校生のうちにいろんなことに挑戦してほしい」とエールを送り、生徒はじっくりと聞き入っていた。</p>
(13)	<p><b>八戸・島守地区のコメで酒造り</b></p> <p>八戸工業大学、八戸市南郷島守地区で地域活性化に取り組む市民団体「ふるさとルネッサンス」（上野大輔代表）、八戸酒類は、3月3日、3者が島守地区の水田で植えた無農薬米を原料に使い、八戸酒類五戸工場で日本酒の仕込みを行った。八工大菌類生理生態研究室の星野保教授、本田洋之准教授と学生4人、ふるさとルネッサンスの上野代表らが、三段仕込みの最後に当たる留め仕込みに参加。八戸酒類の社員の指導で蒸した米をタンクに運び、長い櫛（かい）を使ってかき混ぜる作業を行った。できた酒は「八鶴特別純米酒『しまもり』」として5、6月頃に販売する。</p>
(14)	<p><b>館鼻岸壁朝市が開幕 八戸の"朝"20周年</b></p> <p>国内最大規模を誇る八戸市の館鼻岸壁朝市が3月17日、開幕した。今年で20周年を迎えた朝市には現在302店が登録。初日は新鮮な魚介類や青果、総菜などを取り扱う約230の多彩な店がずらりと並んだ。夜明け前から大勢の市民や観光客らでにぎわい、港町・八戸を象徴するハマは活気にあふれた。朝市は毎週日曜で、今年は臨時開催を含め12月30日まで開催される。また、10月19日、20日には全国各地の朝市団体が集結する「全国朝市サミット」が八戸市で開かれる。</p>

(15)	<b>八戸駅西地区開発本格化 スポーツ生かし集客へ</b>
	八戸駅西地区で、スポーツを活用したまちづくりが進められている。駅西口と多目的アリーナ「フラット八戸」を結ぶ「シンボルロード」沿いに、北辰工業（八戸）がトランポリンパークを核とした複合商業施設「エルロン・ウェスト・ビレッジ」を5月に開業する。通りの向かい側には、市の保留地にトヨタカローラ八戸がグループ会社のフィットネスクラブ「ウイング」などを整備することになり、2027年の開館を目指している。北辰工業の田島理成社長は、「駅前で八戸西スマートインターチェンジも近く、八戸の観光プランの一つにもなるはずだ」とし、新たな経済効果への期待を示した。

【文化・スポーツ】

記事	概要
(16)	<b>映画「じよっぱり 看護の人花田ミキ」八戸で先行上映</b>
	看護師や保健師として、青森県内の公衆衛生の改善に取り組んだ故花田ミキさんの半生を描いた映画「じよっぱり 看護の人花田ミキ」の初の先行上映会が3月3日、八戸市で開かれた。監督は、幼少期に花田さんと偶然同じ列車に乗り合わせ、命を救われた経験をもつ五十嵐匠監督（青森市出身）。晩年の花田さんとシングルマザーの女性との交流を中心に、八戸市で集団感染が起きたポリオ（小児まひ）の治療法を広め、乳児の死亡率改善に取り組んだ花田さんの生きざまを描いた。この日の上映会は2回行われ、いずれも満員。観客らは、人々の命を守るために奔走した花田さんの物語にじっくりと浸った。
(17)	<b>えんぶりの未来、熱く 当事者と見る側が座談会</b>
	北奥羽地方の伝統芸能えんぶりについて考えるイベント「えんぶりの未来をくっちゃべる座談会」が3月22日、八戸市内で開かれた。当事者と見る側と一緒に語り合い、えんぶりの振興につなげようと、同市の中居林えんぶり組の横田英敏さんらが企画。八戸近郊のえんぶりファンのほか、リモートで神田潤一衆院議員も参加し、「見る」「伝える」「広げる」をテーマに意見を交わした。担い手の確保やSNSを活用した取り組みなどの意見を出し合い、知名度向上や次世代へ引き継ぐ方策などについて熱く語った。
(18)	<b>かおりカップスーパーキッズレスリング選手権 県内外84人熱戦</b>
	レスリング女子五輪4連覇を達成した伊調馨さん（八戸市出身）の名を冠した、第7回「かおりカップスーパーキッズレスリング選手権」が3月24日、八戸市武道館で行われ、青森県など8都道府県から集まった年少から小学2年生までの計84人が、熱戦を繰り広げた。また、大会前日には、伊調さんが同館を訪れ、大会に出場する子どもたちを対象としたレスリング教室の講師を務めた。伊調さんは、子どもたちを前に切れ味抜群のタックルを披露。打ち込みでは自ら胸を貸し、手取り足取り指導した。

<p>(19)</p>	<p><b>小田八幡宮八脚門（八戸） 県重宝に 鹿島沢古墳群（八戸） 出土品追加指定</b></p> <p>青森県教育委員会は3月25日、八戸市有形文化財で約170年前の江戸時代に再建された「小田八幡宮八脚門」を県重宝（建造物）に指定した。また、県重宝（考古資料）に、同市の鹿島沢古墳群で見つかった7世紀前半の刀や矢尻など36点を追加指定した。小田八幡宮は1053～58年に源頼義が社を建立したとされ、1854年に再建。当時の伝統的な建築手法の特徴を色濃く残す。鹿島沢古墳群は馬淵川右岸にあり、1958年に慶応大が発掘調査で埋葬施設を確認。1968年に出土した勾玉など27点は2002年に県重宝に指定されており、今回は1958年の出土品が同大から市に移管されたことに伴い、追加指定となった。</p>
<p>(20)</p>	<p><b>八戸市美術館 藤井フミヤ展 惜しまれ閉幕</b></p> <p>八戸市美術館で開かれていた絵画展「藤井フミヤ展 Fumiyart2024」が3月25日、閉幕した。藤井さんのアート活動にスポットを当てた本展では、油彩、水彩、切り絵など多彩な技法で制作された作品約130点を紹介。本展の東北以北での開催は今回が初めてとあって、青森県外からも多くのファンが足を運び、ミュージシャン藤井フミヤさんが創り出す独創的なアートの世界を堪能した。1月20日からの会期中、1万2千人超が来場し、最終日も閉幕を惜しむ人たちでにぎわいを見せた。</p>

# はちのへ

## ふるさと寄附金のご案内

### 『ふるさと寄附金』で八戸を元気に！

八戸市では、「八戸を応援したい!」「八戸が大好き!」という方々からいただくご寄附を『ふるさと寄附金』と名付け、八戸の魅力を高めるためのさまざまな事業に活用させていただいております。ぜひ、『ふるさと寄附金』という形で八戸市を応援してください!



### ふるさと寄附金の3つの魅力

#### ① 寄附金の使い道を指定できる

震災復興、子育て支援、まちづくりなど複数の分野から、寄附金の使い道を選ぶことができます。

#### ② 税金が控除(還付)される

控除上限額内で寄附を行うと、合計寄附額から2,000円を超える部分について、所得税の還付や住民税の控除を受けることができます。(控除上限額は収入や家族構成によって異なります。詳しくはお住まいの市区町村の個人住民税担当部署にお問い合わせください。)

#### ③ お礼の品がもらえる

八戸市では、10,000円以上の寄附をされた八戸市外にお住まいの個人の方に、地域の名産品を「お礼の品」としてお届けしています。

## 八戸市東京事務所

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館5階

TEL:03-3261-8973 FAX:03-3239-6723

Email:tokyo@city.hachinohe.aomori.jp

[所長] 番沢 啓司 [主査] 齋藤 千聖 [事務員] 浜井 章代

### 申込み方法

#### 郵送・FAX・メール

- 「ふるさと寄附金申込書」に必要事項をご記入の上、ご提出ください。
- 申込書は市ホームページからもダウンロードできます。
- 申込書の郵送をご希望の方はご連絡ください。

市ホームページ



#### インターネット

- 下記4つのふるさと納税ポータルサイトから商品をお選びいただけます。
- 各ポータルサイトの決済方法に従って、寄附金のお支払いをお願いします。
- クレジットカード決済をご希望の場合はこちらからお申込みください。

ふるさとチョイス



楽天ふるさと納税



ふるなび



JRE MALL



### 送付先

広報統計課 ふるさと寄附金担当

〒031-8686

青森県八戸市内丸1-1-1

TEL:0178-43-2319

FAX:0178-47-1485

Email:furusatotax

@city.hachinohe.aomori.jp

八戸市東京事務所では、企業誘致や八戸市関連情報の発信等を行っております。関連情報がございましたら、ご提供くださるようお願いいたします。また、事務所の近くにお越しの際は、どうぞお気軽にお立ち寄りください。